



やまがた 議会だより

平成28年5月
臨時号

発行 〒390-1301 長野県山形村議会（代表 平沢恒雄）
編集 議会広報編集特別委員会 TEL0263-98-3111 FAX0263-98-3078

議会新体制がスタート

申し合わせ任期（2年間）満了の4月22日臨時議会が召集され、議長・副議長の選挙を行ない、議長に平沢恒雄氏（中大池）、副議長に三澤一男氏（下竹田）が再任されました。



清水寺八十八夜例祭
彌磨太鼓の皆さん

この度の改選により再度議長に就任しました平沢恒雄であります。村民の皆様のご指導ご支援をお願いいたします。近年議会は意思決定機関として役割と責任は益々増大してきました。地方創生・まち・ひと・しごとの総合戦略が進む中で、微力ではありますが、村発展のために、子育て支援、福祉向上、素晴らしい環境、歴史文化を守り、村発展のため全議員で英知を集結し進



村発展のため
公平・公正な議会に
議長 平沢恒雄

議長 平沢恒雄

副議長就任にあたり、ご挨拶申し上げます。このたび、議会申し合わせによる任期満了



副議長 三澤一男

村民に寄り添い
議会改革を

めまします。1月29日発生
の雨水災害による倒木
処理対策で二次災害発
生を止めるよう努めま
す。議会機能を十分に発
揮し開かれた議会運営
を進め、関係委員会等

に傍聴することで行政
の事業を把握理解する
ことで質疑、討論を高
め村民の真の要望を推
進します。広域連合一部事務組
合議会の議員を兼務し
ております。各々の組
合の運営、業務の充実
と効率化を推進します。
公正・公平な議会運
営に努め「行不由径」
の教えの如く村発展の
ため尽力いたします。

に伴う臨時会において
再度、副議長に就任さ
せていただくことにな
りました。その職責の
重さを痛感している所
であります。さて、いま地方を取
り巻く課題は山積して
おります。地方議会は
地域経営に責任を持た
なくてはならないと考
えています。その一歩
として議会と、村民の
皆様と寄り添い議会改

担当役員名簿

議長	平沢恒雄		
副議長	三澤一男		
常任委員会			
総務産業常任委員会		福祉文教常任委員会	
委員長	新居 禎三	委員長	上条 浩堂
副委員長	竹野入 恒夫	副委員長	西牧 一敏
委員	籠田 利男	委員	大池 俊子
委員	小林 武司	委員	増澤 武志
委員	赤羽 千秋	委員	大月 民夫
委員	平沢 恒雄	委員	三澤 一男
議会運営委員会			
委員長	大月 民夫	委員	新居 禎三
副委員長	増澤 武志	委員	上条 浩堂
議会選出監査委員		大池 俊子	

革に取り組みたいと考
えています。二元代表
制の一翼である議会が
担う意思決定、行政監
視の役割と責任は更に
重要となっております。
今後は議員とともに、
多様化するニーズに応
えるよう皆様に親しま
れる、分かりやすい議
会を目指し、課題解決
に向け、議長をサポート
して参りますので、
皆様のご理解ご協力を
お願い申し上げます。
の挨拶いたします。

…防災行政無線整備事業…

緊急告知放送は

屋外スピーカーで全村を網羅

事業内容の見直しを求め付帯決議した、防災行政無線の整備は、経年劣化により不備が生じている現状のケールによる告知放送システムに代わり、防災無線を導入し各世帯に「個別受信機」を設置する基本方針で計画を推進してきたが、電波法のコンプライアンス遵

守の影響力等を考慮し、個別受信機方式を取り止め、拡声子局による屋外スピーカーを増設し、全村網羅を可能とする万全な緊急通報告知システムの構築を目指す方向に路線変更する。

尚、現状の一般告知放送は今後も継続し、関連機器の整備・更新は総合

的な判断をしながら計画的に取り進むこととする。議会特別委員会では、新たに示された前述の事業内容を全会一致で承認をいたしました。

今後は防災行政無線事業推進委員会で細部の協議をいただきながら年度内活用に向けて事業が展開されます。
(記・大月民夫)

平成28年 第2回臨時会

補正予算

平成27年度一般会計補正予算(第5号)は歳入歳出千90万円追加。

主なものは地方創生加速化交付金、内容は農業振興費に「ビューティー&ヘルシー産業創出事業」9百60万円。

災害復旧費に雨水被害対策工事の設計委託料として百30万円。

以上、全会一致で可決されました。

平成28年 第3回臨時会

報告事項

車両事故の和解及び損害賠償の額について

専決処分

○村税条例の一部改正
○国民健康保健税条例の一部改正

○固定資産評価審査委員会条例の一部改正

○教育保育給付に係る利用者負担額を定める条例の一部改正

補正予算

平成28年度一般会計補正予算(第1号)は歳入歳出に2千3百89万8千円を追加。

農地費で主なものは、「大池原・東原排水施設整備事業」に9百67万6千円。

災害復旧費、雨水被害の倒木処理に千4百25万6千円。

以上、全会一致で可決されました。



住みよい村づくりを

進めるために

総務産業常任委員長 新居 禎三

議会申し合わせにより、2年任期で常任委員長交代になり、このたび総務産業常任委員長に就任いたしました。

直近の関心事であります防災行政無線もいよいよ

よ今年度からスタートいたします。その他、1月終わりに発生いたしました雨水災害の対応など、課題は山積していますが、より住み良い村づくりのため、慎重かつ大胆な提言に努めてまいります。



議員力の

レベルアップを

福祉文教常任委員長 上条 浩堂

前期に引き続き福祉文教常任委員長を引き受けるにあたり、自身の抱負・希望の一端を述べてさせていただきます。

してきています。委員会において、勉強会や政策研究会等をもって、各議員力のレベルアップを目指したいものです。

前期2年間も同じ委員会所属でありましたが、地域づくりはじめ財政、消防・防災事業、エポック館運営、村税対策、土木・河川事業、上下水道事業、産業振興、林務・耕地事業、商工・観光など多岐に渡る所管項目の調査、審査を行なう委員会でありました。

今、地方自治体は二元代表だと言われますが、その実態はかなりほど遠いものがあります。

毎日ニュースで、熊本・大分の地震の様子が映し出されています。被災された多くの皆様のご冥福と、1日も早い復興を願うものであります。

強力な実権を持つ首長に対して、議会はあまりにも後塵を拝しており、ここを改革しなければ只の追認機関に過ぎないのです。

さて、村議会も3年目となり、ここで各委員会構成も変わりました。議会広報編集特別委員会の6名が決まり、議会での状況内容や各委員会の様子など、村民の皆様にあるのまを知っていただけるよう「議会だより」をお届けしたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。



5月10日、山形村の下水処理水がきれいに処理放水されているか、委員による視察

我が議会は委員会優先主義をとって、ここ数年例月の委員会も定着

議会だより臨時号 発行にあたり

籠田 利男